

安全安心な街

磯松中学校

二年

藏重

紫苑

僕の住む八本松は山間部にあり、三〇年ほど前に出来た団地です。その為、祖母世代やご近所さんには高齢の方が多く印象です。ですが、バスなどの交通機関があまりなく、駅やお店、最寄りの病院があるエリアまで遠く、徒歩だと元気な人の足でも三十分以上かかります。ご近所の高齢の方がタクシーに乗って病院や駅に行かれているのをよく見かけます。僕も荷物の多い時は自転車ではなくタクシーで駅まで行ったことがあります。片道だけで千円以上かかってしまい、これではお財布に優しくないなと思った経験がありました。

東広島という都市は、適度な都会とのどかな田舎の風景が魅力的な街だと思います。伝統や特産品も多くあり、大好きな街です。ですが、高齢者にはあまり優しくない街でもあります。その理由は、僕なりに以下のよう

考えました。昔からこの街に住まれている方はずっと愛着をもつて住まわられています。そこで生まれた若い世代の方は、便利さを求めて都会へ移り住む傾向があります。結果的にこの地域に残るのは高齢の方が多くなっています。僕の住んでいる地域でも新しい団地が増えて、若い方が沢山移り住んできてはいますが、住宅ばかりが増えてお店は一軒もありません。どうしても自動車がないと買い物に行けませんが、高齢者の方にとって、買い物をするのに近くに店がないのは困るため、優しくない街だと思いました。若い世代の方であれば自転車でも移動できるとは思いますが、高齢者の方はそういうわけにもいきません。また、山間部にある地域はとにかく急な坂が多く、僕たち子どもでも自転車を通るとき正直しんどいなと思うことが多いです。その為、車を運転される高齢者が多くいらっしゃいます。田舎道を運転される高齢者ドライバーの方が一

時停止しないまま広い道路にそのままのスピードで出てこられ、ぶつかりそうになった事があります。ニュースなどでもよく事故を起こしたのを見ますが、自分も同じようにならないかとても不安です。しかし、車がないと生活できないような地域に住んでいる場合には、免許の返納も不可能だと思いました。

僕はこの地域の、のどかな風景が大好きです。ずっと住み続けたいとは思いますが、同時に、自分達の子供世代の事を考えると、不便なこの地域に住んでいていいのかと不安にもなります。自分の老後のことを考えると、もっと不安になります。

また、バスなどが無いため、親の送迎が必要なのも気になっていきます。習い事へ行くにしても遠く、もしバスがあれば平日の夕方、部活動があるため下校が遅くなっても塾などに一人で通えるのと思うことがあります。遅くに暗い道を自転車で行き帰りするのは怖いです。特に帰り道は、家に近づくほど街灯

がなく、真っ暗な山道を一人で帰らなければなりません。親が仕事で居ないときは、自転車しか交通手段がありません。とても便利の悪い地域だなといつも感じます。

真夏の暑い日に自転車にも乗れない高齢の方が、手押し車などを引いて駅や病院へ行かれているのを見るたびに、熱中症にならないければいいけど、と心配になります。

高齢化が進む今、高齢者が安心して免許の返納ができるように。また、若い世代や子供にも便利で安心して住めるように、田舎にこそもっと交通手段が必要だと思います。安全で安心して暮らせる街は、もっと若い人が集まって繁栄していくと思います。